

# 白 鳩 の 友

第 5 7 号

[平成 22 年度 第 66 回定期総会資料]



長野県松本ろう学校同窓会

# 平成 22 年度活動報告

## ★会 員 状 況

会員総数（会費納入者）	191名
単 身	143名
夫 婦（24組）	48名
賛助会員	82名

## ★平成 22 年度活動状況

- 平成 22 年 3 月 27 日 同窓会「第 65 回定期総会」を松本市社会総合福祉センターにて開催。
- 4 月 3 日 「盛岡高等農林学校時代の教材用掛図展（小岩井是非雄氏作品）」を岩手大学（図書館）にて開催、内田事務局長ら見学。
- 4 月 6 日 母校「入学式」会長代理の降籬元会長出席。
- 4 月 18 日 同窓会「創立 70 周年記念事業・第 1 回実行委員会を母校にて開催。（6 月の記念植樹に向けての会議）」
- 4 月 24 日 長野ろう学校同窓会「定期総会」を長野市内にて開催、内田事務局長出席。
- 5 月 16 日 同窓会「第 1 回役員会」を松本市なんなんひろばにて開催。
- 5 月 16 日 会報『同窓会だより』第 54 号を発行。
- 5 月 22 日 母校「運動フェスティバル」を母校にて開催、葦澤会長ら参加。
- 6 月 19 日 同窓会「創立 70 周年・ハナミズキ植樹」と「同窓会係職員の歓送迎会及びろう教員との親睦会」を母校にて開催。
- 6 月 26 日 同窓会東京分会「定期総会」を東京都新宿区元気館にて開催、内田事務局長ら出席。
- 7 月 17 日 同窓会「創立 70 周年記念事業・第 2 回実行委員会」を母校にて開催。
- 8 月 1 日 会報『同窓会だより』第 55 号を発行。
- 9 月 5 日 「第 38 回大阪ろうあ者『敬老の日』記念大会」を大阪府内にて開催、内田事務局長が「ろうあ校長小岩井是非雄先生」の講演を行った。
- 9 月 25 日 同窓会「第 2 回役員会」を松本市大手公民館にて開催。
- 9 月 25 日 会報『同窓会だより』第 56 号を発行。
- 10 月 1 日～3 日 「第 47 回全国聾学校陸上競技大会 in 松本」を松本市内にて開催、葦澤会長出席。★同窓生より募金を多数頂いた。
- 10 月 7 日～10 日 「第 22 回全国ろう高齢者大会 in 長野」を松本市内にて開催。★母校卒業生として全国ろうあ連盟・高齢部長降籬久氏と長野大会実行委員長山岡高弘氏が活躍された。更に「小岩井是非雄先生作品」展示ほかも行った。

- 10月23日 母校「第40回はと祭」を母校にて開催、同窓生作品展も行った。
- 11月15日 同窓会「創立70周年記念事業・第3回実行委員会」を母校にて開催。
- 12月25日 同窓会「創立70周年記念大会の準備会議」を松本市大手公民館にて開催。
- 平成23年 2月 6日 北海道内札幌聾・旭川聾・室蘭聾の各同窓会として「聾学校跡地の記念碑建立運動に関する説明会」が開催、内田事務局長より説明をした。
- 2月22日 同窓会「創立70周年記念事業・第4回実行委員会」を母校にて開催。(記念大会準備の会議)
- 2月26日 同窓会「記念大会案内書や総会通知など」封筒入れ作業を松本市なんなんひろばにて開催。
- 2月26日 会報「同窓会だより」第57号を発行。
- 3月11日 同窓会「卒業生に対する説明会・同窓会より記念品贈呈」を開催、内田事務局長出席。
- 3月12日 同窓会「最終回役員会」を松本市東部公民館にて開催。
- 3月17日 母校「卒業式」会長代理の米田幹事出席。
- 3月19日 同窓会「会計監査会」を松本市大手公民館にて開催。
- 3月26日 同窓会「東海分会総会及び親睦会」を京都府嵯峨野コミュニティにて開催、内田事務局長ら出席。
- 4月 6日 母校「入学式」葦澤会長出席。
- 4月24日 同窓会「創立70周年記念事業・第5回実行委員会」を母校にて開催。(最終確認と分担役割ほかの会議)
- 4月29日 同窓会「第66回定期総会」と「創立70周年記念前夜祭」を塩尻市アスティかたおかにて開催。
- 4月29日 会報誌『白鳩の友』第57号を発行。
- 4月30日 同窓会「創立70周年記念大会(式典・講演・祝賀会)」を母校体育館にて開催。

中 日 報 2010年(平成22年)6月20日



## 「美須々校舎に学んだころ」

松本ろう学校同窓会長 葦澤正敏

私が昭和45年3月に松本ろう学校高等部を卒業してもう41年たちます。同校での思い出がいっぱいあります。美須々校舎は運動場が少し狭かったのですが、野球やサッカーなど、みんなで遊ぶことが、私たちにとってとても楽しいことでした。

昔は、手話を使うと怖い先生に怒られ、廊下に立たされたものでしたが、今では手話も学校で使われるようになり、本当にうらやましいと思います。小学部・中学部・高等部の授業も口話中心で、手話を知らない先生の口を読み取るのが難しく、勉強がなかなか進まないことがありました。

今は美須々校舎は跡形もなく、美須々ヶ丘高等学校のグラウンドと体育館が建っています。私にとって美須々校舎時代は、本当に懐かしい思い出ばかりが詰まっています。あの頃に戻れるならもう一度戻りたいなあと思いました。

最後に、創立70周年を迎えた同窓会の発展と、ますますの活躍をお祈り申し上げます。

## 出 会 い は 宝 物

松本ろう学校長（同窓会顧問）宇都宮通孝

校長室から見る大空に向かってそびえる北アルプスの雄姿。その美しさに自然の素晴らしさを感じるとともに心が和み、癒されます。松本ろう学校でお世話になって、早一年がたとうとしています。特別支援教育は専攻してきたものの、ろう教育に初めて挑む自分にとって、素直で純粋な子どもたち、精一杯教育活動に打ち込む先生方をはじめ、大勢の皆様との出会いは貴重なものでした。中でも同窓会の皆様との出会いは、自分にとって大切な宝物になりました。同窓会創立70周年記念大会を来年度に控え、着々と準備を進める皆さんの姿、お会いするたび松本ろう学校小岩井是非雄初代校長先生を敬愛し、母校で学ぶ後輩たちのために活動する熱い思いを感じました。その情熱に心うたれるとともに、自分も子どもたちのためにがんばらなければと、大きなエネルギーをいただくことができました。改めて同窓会の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

同窓会の役員さんが作ってくださった松本ろう学校創立80周年記念DVDを見ました。本校の歩みを知るとともに大勢の皆さんが築いてくださった伝統の素晴らしさを強く感じました。いよいよ4月には同窓会創立70周年記念大会が開催されます。本校の伝統に新しい1ページを刻むためにも同窓会の皆様と力を合わせて取り組んでいきたいです。どうぞよろしくお願い致します。

## 『第47回全国聾学校陸上競技大会 松本大会を終えて』

松本ろう学校教頭（同窓会世話役）小林智明

昨年度、全国聾学校陸上競技大会へのご協力を、本会報を通じて同窓会の皆様方をお願いをさせていただいたことを覚えています。今からちょうど一年前のことになります。あの頃、年度末のせいもあってか、大会本番の年を迎えてとても落ち着かない毎日を過ごしていたような気がします。

お陰様をもちまして、10月1日（金）から10月3日（日）までの大会期間中、天候に恵まれ特に大きな事故等もなく、全ての日程を無事に終了することができました。全国から集まった選手に混じって本校陸上部の生徒たちも持てる力を存分に発揮し、それぞれに輝かしい活躍と記録の数々

を残し、私たちへ感動と勇気を与えてくれました。

これも、同窓会の皆様方からいただいた、心温まるご支援とご協力があったからこそと思っています。この場をお借りして衷心より御礼を申し上げます。

誠に、ありがとうございました。

## 今年度の終わりに感じた事

松本ろう学校 PTA 副会長 丸 山 慶 子

同窓会の皆様には、日頃より大変お世話になっております。また、今年度は同窓会 70 周年をお迎えするとのこと、改めてお祝い申し上げます。

「ハナミズキ」花ことば「私の想いを受け取ってください」

同窓会 70 周年記念に松本ろう学校に植樹していただきました木です。

歌手の一青窈さんが、この花を題に歌をうたっています。

最初は恋の歌なのかと思いましたが、不思議な歌詞なので調べてみると、アメリカで起こった「9/11」同時多発テロを題材に、彼女の感じた想いが込められている事がわかりました。突然起こった不幸な出来事で、あまりに早くその命を終わらせた人々が、愛する家族・恋人・友人の幸せな未来を願う想いを歌った歌でした。

そして日本でも、東日本大震災が起こり、たくさんの方々が亡くなりました。被災された方々は悲しみを背負いながら「私たちは負けない」と懸命に日々を過ごしています。

卒業式の日、わが子の担任の先生の一人が子供たちに向け、「生きて下さい」と言葉を投げかけて下さいました。突然の言葉に、一瞬ポカン・・・となる子供たちでしたが、今日を生き、明日に繋がり、未来につながるその一言に込められた大きな想い、愛情に胸が熱くなりました。今はまだその言葉の大きさを理解できない・・・かもしれない子供たちも、松本ろう学校を巣立つ頃には、一回りも二回りも逞しく成長し、支えてくださった方々の想いを受け取れたらと思う今日この頃です。

## 孫のお泊り

長野県中南信聴覚障害者親の会長 田 中 信 光

柔らかい春の日差しが、部屋の中まで差し込この頃となりました。同窓会員の皆様方におかれましては、ご健勝にてご活躍の事とご拝察申し上げます。

春の暖かさに誘われるかの様に、先日、五才と三才の孫息子二人が我が家にお泊りに来ました。二人だけで泊まるのは初めての事であり、無事に泊ってくれるか非常に心配でした。

布団を敷きつめ、四人で「座こ寝」しようかと思いましたが、するとその時、心配が現実の物となってしまいました。枕投げをするは、サイドボードの上からダイビングをするは、布団は元の形を留めておりません。余程居心地が良かったのか、格好の遊び場としてしまいました。やがて遊び疲れたのか、いつのまにか眠りについてしまいました。今まで騒がしかった二人の孫ですが、寝顔のその可愛い事、中国地方の子守り歌にも唄われている通り「ねたこの～かわ～いさ、起きてなく子のつら憎さ」正に歌詩そのものでした。それから何事もなく朝を迎え、二人の孫も何事もなかったかの様に起きて来ました。そして、又 慌しい一日が始まりました。孫の笑顔は私達にとって掛替えのない宝物である様は気がします。

これからも孫の生長を楽しみに毎日エンジョンして行きたいと思います。

## 「1年間を振り返って」

高等部生徒会長 濱野結花

私は、母子教室時代から16年間松本ろう学校へ通いました。そして、今年度はいよいよ最終学年となり、また生徒会長という役職も頂きました。私なりに、この1年間を振り返って、2つのことについて書きたいと思います。

1つ目は、生徒会長と部活の両立です。私は中1から陸上を続けてきました。しかし、今年度、生徒会長に立候補する際、陸上部を続けるか、すごく悩みました。生徒会長の仕事と受験勉強、さらに今年度は全国聾学校陸上協議会が松本で開かれるということで、両立ができるか不安だったからです。しかし、「挑戦しないで後悔するのと、挑戦して後悔するのでは、挑戦したほうがいい!」と思って、陸上部を続けることにしました。

自分の目標を達成させるための練習は厳しく、仕事や勉強との両立も辛かったのですが、10月に行われた全国聾学校陸上大会では、同窓会の皆様をはじめ、多くの方の応援のおかげで、良い結果を出せる事できました。ありがとうございました。

2つ目は、進路です。みんなもそうだと思いますが、高等部までは松本ろう学校にいたことが当たり前でした。しかし高3になり、自分の進路について真剣に向き合わなければなりません。夢と現実のギャップに悩み、家族や先生方と相談を重ねました。そして考えた末、私は他校の専攻科を受験することを決意しました。

2月、合格の発表を見たときには、本当に嬉しかったです。反面今は、4月から松本ろう学校を出て、新たな生活を始めるという不安もありますが、夢を実現するよう頑張っていきたいです。一緒に過ごしてきた友達も、それぞれの進路で頑張っていきたいです。いろいろ悩んだり、苦しかったこともありましたが、有意義な生活を送れることができました。

本当にありがとうございました。

---

## 同窓会相談役の一言

「先輩の背中」

同窓会係主任 山岡美穂 (小学部)

今年度、本校は全国聾学校陸上大会の主管校として、準備・運営に携わってきました。同窓会の皆様にも、多大なるご協力をいただきありがとうございました。

当日は、「練習を頑張っていた先輩の姿」「当日、緊張しながらも自己ベストを目指している姿」など、応援していた児童・生徒もそうした先輩の姿を見て、「自分も頑張りたい」「あんな風になりたい」と憧れを抱いていました。

「子は親の背を見て育つ」と言いますが、「後輩は先輩の背を見て育つ」とも言い換えられると思います。同窓生の皆さんが、その伝統を作り、今に繋げて下さっていることに感謝です。これからも学校、そして子どもたちの為に、どうぞよろしくお願い致します。



## 一年間ご一緒させていただいて

氷川明子(中学部)

今年、同窓会の係となり、一年間同窓会の皆様といろいろなこととお話しさせていただきました。いつも感じたことは、母校を大事に思い、同窓生の絆を大事にされているということでした。自分はどうだろうかと振り返ってみても、母校のことをこんなに大事に思い、活動をしていません。母校を思う先輩方のいる学校で学べる生徒達は、幸せだと思います。来年は同窓会70周年記念行事が行われます。盛会となりますように微力ですがお手伝いさせていただけたらと思います。

篠原雅哉(高等部)

本年も1年間、同窓会の皆様には大変お世話になりました。長野ろう学校で5年勤務したのち、今年度より松本ろう学校にまいりました。本年は全国聾学校陸上競技大会が松本で開催され、同窓会の係だけでなく陸上部の副顧問としても、本校生徒たちのためにお力を頂いたことを、この場をお借りし厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。そして、聴覚に障害を有しながらも本校初代校長として松本のろう教育にご尽力された小岩井是非雄先生について、個人的に学ぶ機会もあり、その際も同窓会の方にガイドをして頂きました。このように同窓会が創立されてから70年も経た今もなお、松本ろう学校の伝統を語り伝えていく同窓会の姿勢は、小岩井校長先生の活動に劣らず、非常に素晴らしいものと思っております。

今後とも生徒たちを温かく見守りながら、必要なお力をお力を頂ければありがたく思います。その際はどうぞよろしくお願い致します。



## 東京分会の企画『箱根の旅』

松本ろう学校同窓生 仁科和夫

11月19(金)東京分会と東海分会からの参加希望者が、箱根湯本駅で合流の予定でした。しかし、新宿駅発の小田急線が人身事故のため不通になり、JR線湘南ライナーに変更しました。1時間程遅れて箱根湯本駅に着くと、ホームで登山電車を待っている東海分会の方々の姿が見えてホッとしました。平日なのに、期待が外れてすごく人が混んでいて、登山電車の中はすし詰めの状態でした。そして、ケーブルカー、ロープウェイと乗り換えて、芦ノ湖に向かう途中、右、左、見渡す限りの紅葉を満喫しました。湖尻桃源台から芦ノ湖観光船に乗るまで時間があり、その間昼食を取りました。時間が来て、海賊船のような船に乗り、上段のデッキ(船首に近く)に立ちました。動き出すと、映画「タイタニック」を思い出して、飛行機で飛んでいるような感じで、風も冷たかった。下船した場所は、新春箱根駅伝往路のFinishの地です。関所を観て、当時の江戸幕府の様子が分かりました。広いのでびっくりしました。(木曾関所より広い)薄暗くなり、バスで箱根湯本駅へ。ホテルは和洋兼用の部屋で本当に落ち着いた感じでした。山々に囲まれてのんびりした所で疲れが取れます。夕食はフルコースで、信州の旅館では食べた事のない料理を味わいました。翌朝食はバイキングでした。

それから、大涌谷へ向かいました。湯けむりは地面から噴き出し臭い(におい)が、温泉だなど思いました。富士山がくっきり見え、バックにして記念写真を撮りました。

今回、東京分会(役員)の中島ふくみさんが企画し、誘って下さいました。箱根に行くチャンスだと思い、参加しました。思い出をありがとうございました。



芦ノ湖観光遊覧船



大涌谷にて

## 東海分会定期総会及び親睦会に参加して

松本ろう学校同窓会役員 米田 至

去る3月26日(土)～27(日)京都の嵯峨野コミュニティにて、松本ろう学校同窓会東海分会定期総会及び親睦会が開催されました。参加者は東海分会(愛知、奈良、京都他)会員と本部役員を含めて14名集まりました。

東海分会長の新海和子さんの挨拶があり、総務部長藤原美奈子さん、会計部長中村房子さんより平成22年度活動報告及び会計決算報告や平成23年度事業計画及び会計予算案などの議案について協議が行なわれました。来年度の事業は、奈良県の紅葉めぐりの予定があり、今から楽しみにしております。本部事務局長の内田さんより「同窓会70周年記念植樹、全国聾学校陸上競技大会in松本の募金、同窓会70周年記念事業寄付金のお礼他」の報告がありました。そして、来る4/30松本ろう学校同窓会70周年記念大会の記念講演に先立ち、京都に住む講師の西岡正人さんをお迎えして、自己紹介と京都の歴史などのお話をして頂きました。

定期総会終了後、「第22回全国ろう高齢者大会in長野」大会アトラクションとして上映されたビデオ『映像で見る小岩井是非雄先生の生涯』を拝見し、とても素晴しかったです。

27日の午前、京都聾学校と京都盲学校を訪問し、古河太四郎先生胸像を写真撮影して、その歴史も知ることができ、とても良かったです。

東海分会の企画が決まったら、是非参加したいと思っています。役員の方皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。



東海分会第2回総会及び親睦会



京都盲学校(古河太四郎先生胸像)